



東 俣 野 4月号

東俣野小学校 学校だより 令和8年4月7日

わたしたちが主役 ～見つける 考える やってみる～

校長 幸保 陽子

春の柔らかな日差しの中、新しい一年が始まりました。入学・進級おめでとうございます。子どもたちは、新しい学年への期待と少しの緊張を胸に、それぞれのスタートを切りました。

本年度、本校では「わたしたちが主役」を学校スローガンに掲げました。学校は誰かが用意してくれるだけの場所ではなく、一人ひとりの子どもたちが、関わり合いながらつくっていく場所でもあります。「こんなことをやってみたい。」「もっとよくしたい。」と自分から行動することで、学校をよりよい場所へと変えていきます。その意味で、子ども一人ひとりが、この学校の“主役”なのです。

主役として、大切にしてほしい姿を「見つける 考える やってみる」という言葉に込めました。日々の学習や生活の中で、「なぜだろう」と気づき、「どうしたらよいか」と考え、そして一歩踏み出して「やってみる」。この積み重ねが、主体的に学び、行動する力を育てていきます。

もちろん、やってみることがいつも思い通りにいくとは限りません。うまくいかないことや難しさに出会うこともあります。そのようなときには、諦めずに取り組み続けることが大切です。やり方をくふうしたり、友達に相談したりしながら、もう一度挑戦する。そのような粘り強い取り組みが、自分の力を確かなものにしていくのでしょうか。

また、学校は一人だけで頑張る場所ではありません。友達と考えを伝え合い、支え合う中で、新しい気づきや学びが生まれます。一人ひとりが主役であるとともに、互いが共に関わりながら学校をつくっていく存在でもあります。互いのよさを認め合い、共に成長していくことを大切にしていきたいと考えています。

教職員一同、子どもたちが安心して挑戦できる環境を整え、一人ひとりの思いを大切にしながら、その成長を支えて参ります。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様とともに歩んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。